

# 保育おながし

神奈川県保育会々報 第 10 号 1971.3.31発行

あいさつ

神奈川県保育会長 望 月 正 道

県民の保育要求は、ますます増大しております。これに対し県御当局をはじめ各市町村においても積極的に育成助長の方策をおすすめていくことは御同慶に存じます。

本県においても、300 有余の 保育所の数を数える現況となり、質的にも向上をめざして前向きな姿勢を示していることは、力強きかぎりであります。

## も く じ

あいさつ .....	神奈川県保育会長	望 月 正 道	1
あいさつ .....	神奈川県民生部児童課長	松 原 富 郎	2
みどりの家愛児園施設概要 .....			3
児童福祉とは .....	相模原市 東林保育園	山 県 恵美子	6
体育祭を終えて .....	横須賀市保母会長	鶴 山 マサ子	7
～短歌～ 籍 .....	神奈川県保母会長	柳 瀬 劫 子	8
保母中央研修会 .....		佐 藤 喜代子	9
第三回横須賀市保育事業大会について .....	横須賀市保育会長	加茂坂 英 一	10
“まあ奥さま” .....	みどりの家愛児園園長	安 部 龍 巖	10
鎌倉・逗子地区便り .....	双葉保育園	小 池 妙 子	11
～俳句～ .....	ひまわり愛児園	丘 紫 雲 女	11

本会は、会員各位の御協力のもとに各種の活動を展開しています。

しかしながら保育所運営については、いくつかの今日的課題が山積していることも見のがすことができません。特に公私格差の問題や処遇改善、労働条件の整備等一日も早く近

代化を計らなければなりません。今こそ足なみをそろえて、保育の前進のために努力したい念願であります。こいねがわくは会員各位の絶大なる御支援と御協力を切にお願いいたします。

## あいさつ

神奈川県民生部児童課長 松原富郎

本県の保育事業は皆様方、神奈川県保育会をはじめ関係者各位の絶大なる協力により年々充実発展しておりますことは、誠にご同慶に堪えません。

ご承知のとおり近年における、わが国の経済成長は国民生活のさまざまな面に著しい向上と急激な変化をもたらしつつありますが、保育事業に対する県民の関心は、これらの社会情勢を背景にますます高まっております。

特に本県におきましては過密都市化の傾向が著しく、都市化の波から児童を守るためにも保育所の整備拡充が強く要望されているところであります。

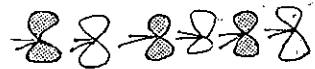
県といたしましては、これらの状況に対処し、関係市町村と共に保育所の整備費や運営費等の助成を行ない、保育所の充実を図っておりますことは既に皆様方のご承知のとおりであります。

昭和46年度においては、さきに地区別民間保育所長会議でご説明いただいたとおり、建設費の補助単価や民間施設経営調整費の補助率の大巾な引き上げ、あるいは県単社会福祉事業振興資金の増額と手数料の無料化など、さらに積極的に助成を行なうことにしました。

一方、保育事業に対する社会の期待が高まれば高まるほど、施設の整備や保育内容の充実とともに、施設の健全なる経営がいっそう要請されるところでありまして、経営の基本であります人事労務管理と会計経理の適正化になお一層のご努力を願い、近代的な経営体としての保育所づくりに保育会の皆様方が推進力となって戴くことを期待してやみません。県といたしましては、この課題解決のためさらに意を新たに援助指導体制を充実いたしますが、保育所の経営者あるいは管理者としての皆様方の協力と努力がなければ保育事業の発展はあり得ないと存じます。

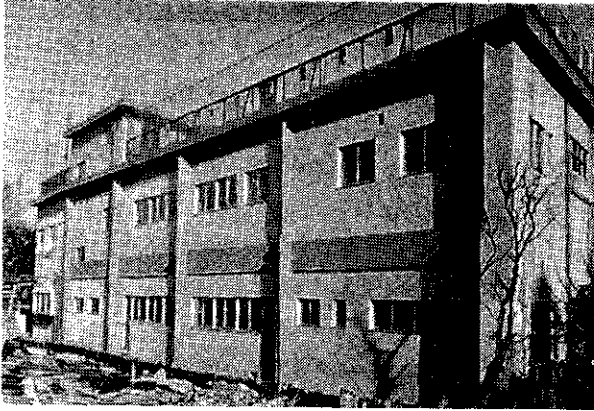
本県、民間保育所の自主的団体であります神奈川県保育会が今後とも着実に発展されますよう一層のご活躍を願うものであります。

終りに臨み、平素のご苦勞に心から感謝すると共に皆様方会員ご一同のご健康をお祈りいたします。

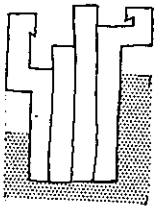


# 社会福祉法人 みどりの家愛児園

小田原市中町 1-15-11



## 施設概要



### (1) 設立並びに沿革

現園長（理事長）安部竜巖は、社会福祉と児童教化並びに幼児保育等の47年余にわたる奉仕活動をもとに強い信念をもって保育の充実に精進し、児童福祉と幼児教育に情熱を捧げてきた。

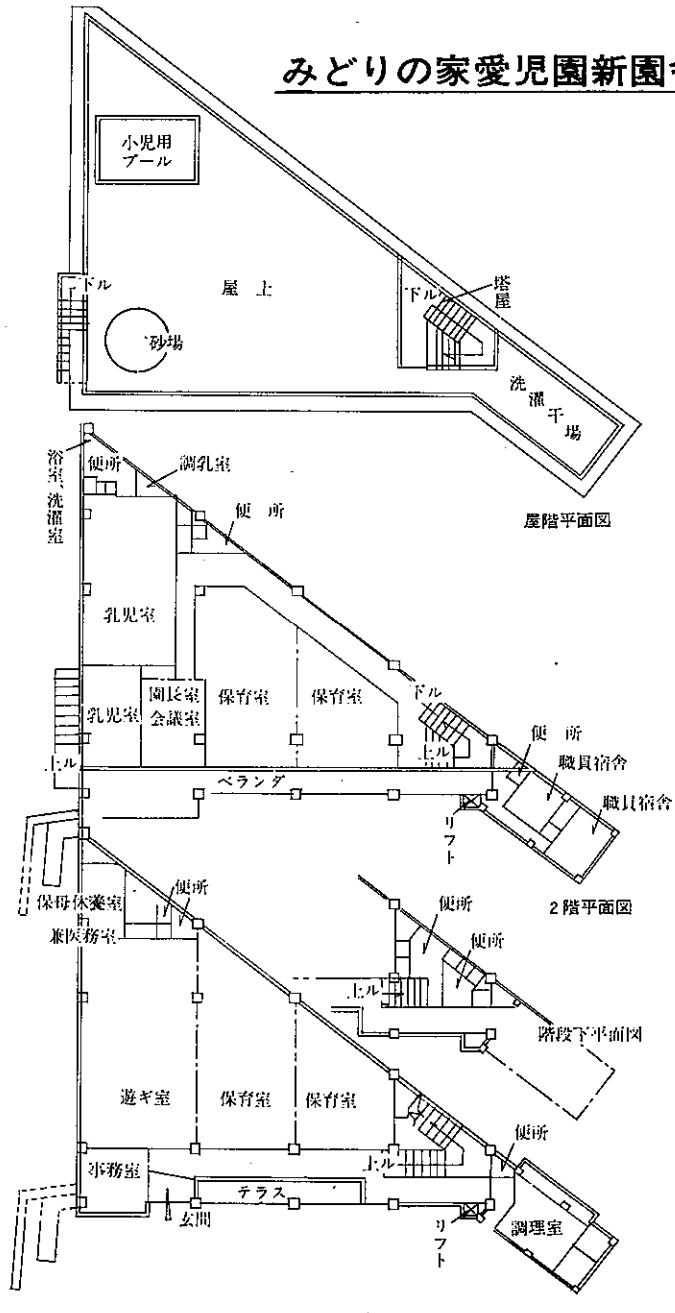
#### みどりの家は

子供にうるおいの光と浄らかな環境をあたえ、より善良な、より健康な、より幸福な子供へのお手助けと共に、現下の社会状況下、足手まといな乳幼児を完全に保育して働くお母さま方のお手助けをしたいと発願し、昭和25年私財を投じ仏法と寺院を実社会に生かす趣旨より宗教法人浄土宗安楽寺の境内に建坪30坪の木造平屋建園舎を新築し（一部は本堂を使用）みどりの家を開設、定員33名の児童福祉法による保育事業を開始、昭和26年1月10日

安部竜敏の個人立として神奈川県知事の認可をうけた。

昭和28年4月32坪増築し、昭和29年3月31日 宗教法人安楽寺の設置主体に変更認可をうけ、更に昭和32年3月増改築をして94坪余の園舎を完備し、同年8月1日定員84名の変更認可をうけた。

## みどりの家愛児園新園舎配置図



この間、神奈川県知事殿、小田原市長殿、神奈川県仏教会長殿、浄土宗保育協会会長殿等より表彰状及び感謝状をうけ、特に昭和39年4月29日天皇御誕生日の佳辰に当り、御下賜金拝受の光栄に浴した。この栄誉と感激を永く残すべく給食調理室を新築し、更に社会福祉事業としての徹底を図り永久に本施設の存続と発展を期し、ますます当地域社会の要請に応えようと社会福祉法人みどりの家愛児園と改組、昭和45年2月23日付厚生大臣の認可を得ると共に恒久建築への全面改築を計画、こゝに神奈川県、小田原市、神奈川県共同募金会より補助金の交付を得、自己資金として神奈川県社会福祉事業振興資金の借入(25年償還)をもって鉄筋コンクリート2階建718.64㎡の園舎を新築、昭和45年12月31日竣工、面目を一新にして現在に至る。

## (2) 所在地及び位置

所在地 神奈川県小田原市中町1丁目15番11号(宗教法人浄土宗安楽寺境内)

郵便番号250 TEL 0465(22)4625

位置 東海道線、新幹線、小田急線、共に小田原駅下車、徒歩10分。

大雄山線緑町駅下車徒歩2分。

小田原駅より関本行、栢山行、松田行、下曾我行等のバスにて広小路下車、バス停前(国道255号線)

## (3) 敷地及び園舎設備

1. 敷地 1,057.85㎡(宗教法人浄土宗安楽寺所有地)

2. 建物

園舎 鉄筋コンクリート造2階建 延718.64㎡

遊戯室87.5㎡、保育室(4)207.1㎡、乳児室(2)77.05㎡、  
事務室16.0㎡、会議室兼園長室18.9㎡、保育休養室兼医務室(ロ  
ッカールーム付)16.42㎡、調乳室2.3㎡、浴室兼洗濯室4.0㎡、  
調理室(休養室、便所付)28.42㎡、園児用便所4ヶ所、職員用便所3  
ヶ所、その他ベランダ、テラス、バルコニー、倉庫、玄関、階段、廊下、  
屋階塔屋等。職員宿舍(2室3人用、調理場、便所付)28.42㎡

3. 設備 ㊟屋上遊戯場及び物干場(小プール、砂場、遊具設置)

㊟屋外遊戯場(遊具、砂場、観賞用小鳥の家、池、花壇設置)

㊟リフト

㊟非常階段2ヶ所、非常用スベリ台1ヶ所及び非常口3ヶ所

㊟各室放送、暖房、室内電話設置

## (4) 収容定員

乳児2才以下20名、3才児10名、3才以上児90名 計120名

## (5) 役員及び職員

理事長兼園長 安部 竜 巖  
理事兼副園長 安部 竜 雄  
理事 立木茂一、立木宏、鈴木平八郎、福住文太郎  
監事 竹内竜道、森知足  
後援会 (会長) 諸星道春 (副会長) 福住文太郎  
職員 主任保母 安部美子 外保母9名、雇及び調理員3名、囑託医1名

## (6) 新築工事概要

1. 着工 昭和45年6月7日  
竣工 昭和45年12月31日
2. 所要経費総額 43,000,000円
3. 設計 稲葉建築事務所(湯河原町宮上349-1)
4. 施行 (有) 杉山工業(湯河原町宮上369)

## 児童福祉とは

相模原市 東林保育園 山 泉 恵美子

最近の傾向として乳児保育の要求度が年々高まりそれもほとんどが長時間保育を望んでいる。乳児長時間保育を強固に要求されたからといって乳児の立場にたつての眞の福祉も考えず施設が乳児を受け入れそのまま一方的に押し流されてもよいものだろうか。

といっても、私共の園でも乳児のほとんどが長時間保育希望で余儀なくそれを受けいれているのが現実だ。

日蔭に育つたもやしのような乳児S君1才がこの4月から入園した。当園に落ちつくまでの1年間S君の保育環境は転々と変つた由、S君の顔色は青白くさえない。これまでに太陽の光を十分に受けていたならばS君のほほ

はバラ色であつたらう。寝かされたままの生活だったのか他の乳児にくらべて足の細く弱いこと、おまけに食事もすくない。

このような発育状態のS君の両親は小学校の教員なので今後も母の手から離れ朝7時半から5時半までの10時間は保育園にいることになる。

児童福祉とはいったい何を指すのだろう。児童福祉以前に企業の労働力確保があり婦人の働く権利が優先するのか、母親と肌の接触が得られなくとも安全に乳児の命が護り育つならば長時間集団保育が乳児にとって福祉的であるのか。集団保育をすることによって働く婦人の労働権は支えられるが乳児の心身共

に文化的で豊かに生きる権利は阻害されるといっても言い過ぎではないだろう。

人間の子どもとして生育され、友達を求め集団生活に対する適応性が芽ばえてくるのはだいたい三歳前後からだときくが、とすると乳児期の集団保育特に長時間保育は乳児の健全な成育にとって好ましくないものと信ずる。

現代はすべての面で無駄を省く合理化精神が尊ばれるが人間を創りあげていく過程の乳児期の保育に限っては絶対に機械的な合理性を主張し実践してはならない。

国の政治家もこの頃はよく人間尊重をうたっているが私はまず乳児の人権を守って尊重してもらいたいと考える。働く母親に対して

は育児休職制度や休暇を社会的に保障する、又すべての乳児には乳児手当を制度化するなどそれが無理ならばせめて、乳児をもつ母親の労働時間短縮制度を実現願いたい。とにかく人間尊重のお題目ばかりでなく具体的事実を以って人間尊重を示してもらいたいものだ。

子どもの育成は社会が責任を負うという意見があるが現代の複雑な社会機構のなかではそれも当然のことと共感できるがしかし、乳児の保育だけは何としても一対一の人間関係で母の手にゆだねたい。叫ぶことも訴えることもできぬ乳児に変わって私は声をあげる。乳児の保育だけは母親の暖かい胸のなかでと……  
以上

## 体育祭を終えて

横須賀市保母会長 鶴山 マサ子

物事が始まる前、人は、いろいろな予想をたて、臆測し、虚々実々の情報の中で迷う。

いざ現実の問題としてのしかかって来ると、完全にその渦中に投げられ無我夢中で動きまわり目の前の事件を解決しようとする。そして、すべてが終わった時、始めて冷静にその事の全貌をふり返って見る事が出来る。私にとって体育祭の経験は、全くその方程式通りのプロセスで終結した。

小さい時から、およそ体育と名のつくものは、ことごとく敬遠して通りすぎ、そうした事からは解放されたと思っていた今頃になって事もあろうに体育祭開催地の会長をおよせつかるとは、まさに天罰とでも云えるめぐり合わせであった。

五里夢中の状態で唯毎日がつくと、体育祭と云う不消化な塊りが胃の中にしこってて、それを半年間も抱き続ける事への恐れに

さいなまれた時期を過ぎて、もう通れようもないのだから全力投球するまでの事と胆をきめてとりかかった頃、やがて動き始めて準備最盛期にかけ走りながらも統率力の無さに自信喪失した時期、そしていよいよ当日と云う前日が土砂降り延期、次の一週間は唯空模様を案じ続けた不安な日々、挙句の果に又々当日は雨、最後まで天罰は容赦なく私を苦しめた。

それも無事終了後仕末が済み、おちついて見るともう木枯しの吹き荒れる頃になっていた。文字通り体育祭に明け暮れた苦しい一年間だったが今にして思えば唯苦しみだけが体育祭のもたらした物では決してなかった。

天候にこそ恵まれなかったが、又それ故にこそ反って多くの人々の暖かい厚意と協力を身に泌みて感ずる事が出来たのは天罰転じて天祐と化したとでも云おうかまことに得難

い収穫であった。保母会をとりまく市内の関係諸機関があげて積極的に援助を続けられた事はどれだけ私共の心強い励ましになったか測り知れない。これ程のご助成を頂き会員たる者、奮起せざるを得ない。中には相当に負担の重い仕事を受け持った人もあり過労になった事も再三であったが、皆へこたれずよく頑張りを続けた。

降りみ降らずみのまんじりともしない夜が明けて、遂に最悪の状態を朝を迎えたが、柳瀬会長とも、矢島民生部長とも連絡のとれないまゝに問い合わせが殺到し、私は独断で決行の返事をしてしまった。

体育館いっぱいの人々の群を見て絶対絶命とはこのことと観念した。その時矢島部長が見事な采配で難関を切り拓いて下さり、その間に変更プログラムが会員の手で作られて行った。あの不思議な魅力に満ちた体操と壇上利用の席替えの間に徐々に固い雰囲気は柔らかいで行くのを全身で感じながらこれで半年間の我々の努力が一度崩れ、形を変えて開花すると云う予感と、こんな大事な土壇場に木偶漢（でくのぼう）のように突っ立っている情けない自分を同時に感じていた。私共の一生懸命の努力を快く受けて下さった参加者の皆様

の気持ちがああ会場はちきれんばかりの若さと楽しさを生んだ源だったと思う。

今更ながらに、人間の結集した力の大きさ、有難さをまざまざと見せられた事が、私の人生観を変える契機となった事は否めない。又極めて冷酷に己の価値を見せつけられた事も度々であったが、己を空しくする事が出来てこそ新しい人間関係の発展があると云う事も身をもって知る事が出来た。

多くの人が云うように体育祭は大変なサイドワークには違いないが、今後開催される市郡の皆様、決して過大に恐れる事なく、むしろこの試練を通して保母会の団結の力が一投と飛躍されるよきチャンスとして日頃から関係諸機関とのつながりと保母会のまとめを、手固くなされますように。

川崎市から貴重な資料をお借りした私共は茅ヶ崎市に出来得る限りの協力をするつもりである。そうした意味でのバトンを贈ることこそ親睦と友情を深め合う体育祭の精神そのものの表われと私は思う。そうした基盤の上に立っていよいよ盛んな体育祭が続けられてゆく事を望んでやまない。

(1971年1月)

## 霜

柳瀬 劫子

勤めにいでむと起きいで思ほへば  
今日は祭日又しばし寝む

暁の冷えに構ふと小さき肩いからせて  
暫し眠らむとせる

夜の霜に鉢の浜木綿枯らさじと  
夕べ夕べを玄関に入るる

庭の木に小鳥来鳴けば籠の十姉妹  
きほひ羽ばたきて鳴く





## 保母中央研修会

佐藤喜代子

県保母会の事業計画の中で、中央研修会は県内保母が一堂に集まり行なう重要な研修会でございます。

今年度は、昭和46年2月13日(土曜日)午後1時より県立社会福祉会館において、神奈川県松原児童課長を囲む会、ひきつづき3時より幼児文学について、鹿児島短大教授西郷竹彦先生の講演というプログラムのもと県下の各園長先生に御案内申上げ職員の出席方をお願い致しましたところ、約100名の参加をみました。

(今年は各地区ごとの研修会はペンテル後援の絵画指導を実施し多数の参加者をお喜びでしたが、中央研修会には) 会員保母の1割にみたない出席数であることに、まず資質向上を叫びながら立ち遅れている原因がここにもあるような気がいたしました。

児童課長さんから1. 施設に対する整備計画、2. 職員の処遇改善、3. 対象児の処遇改善等民間保育所、振興のため、現在、県が行なっている助成、又、46年度に改善される点等のお話をいただいたのち質疑応答に入りました。

1. 保育園では、0才児は生後何ヶ月より預るのが適当であろうかの質問に、3ヶ月未満は母の手元におくべきで、横浜市は0才児は措置せず、川崎、藤沢では、0才児は好ましくないが、やむをえず例外として措置している。但し6ヶ月以上に限っている。

2. 藤沢地区の保母から保母の休憩時間を

どのようにとっていますか、との発言に各地区より園児の午睡中にとるとか、2班に別れて交代にとる等、発表があり、又、規定では休憩をとることになっているが、実情としてとれないのだが、その分を手当として貰えるが、の質問に、児童課長さんから、休憩をとれない理由がどこにあるか検討してとるよう努力してほしい。又、とれないからといって手当は出ないとお答えがありました。現在休憩をとっている園が挙手によって7名程度しかありませんでした。

3. 平塚、中郡地区の保母より、保育中に児童表・日誌などつけてはいけない。又つけてはられないが、5時すぎて、これらをして、超勤手当を出せないと言われたが、との質問に児童課長さんから、児童表・日誌の記入は公の仕事だから、保育そのものでなくとも、超勤の対象である。但し、30分までは超勤手当がつかないとのことでした。

4. 愛甲郡のかたから保育単価と措置費の使いわけを教えてくださいとのことに(くわしい資料の持ち合わせがないので)後日印刷して各保母に配布するとの約束をされ、定員30名増加することに単価のちがうこと等、大ざっぱな話だけで時間がなくなりました。

幼児文学について西郷先生の話は、幼児文学の特長であるくりかえしとコントラスト(対比)について、大きなかぶ、てぶくろ、いたずらこねこ、注文の多い料理店等の童話をさしはさみながら、分りやすく話してください、敬遠しがちな「言語」を日常保育にとり入れてすぐ役立てられることをうれしく思いました。

以上



## 第三回横須賀市保育事業大会について

横須賀市保育会会長 加茂坂 英 一

本市の大会も回を重ね第3回となり昭和45年9月19日(土)横須賀市文化会館中ホールにて約200名の参加者のもとに盛大に開かれた。この大会の目的は保育事業関係者相互の理解を深め永年勤続者の功績をたたえ事業の発展を期する為に行なう。この目的のために市内各保育園が一致協力し数名の大会準備委員を市保育会、市保母会に委嘱し準備運営を行なった。大会も三度目ともなると多少マンネリ化の傾向もあるので来年度の大会には只集まった形式的なものではなく研究発表や研修会の様に少し形を変えたものにしたいと思う。又永年勤続者の表彰も大会会長だけでなく市長表彰も出来る様接渉してみたいと思う。大会は定刻に育くみの歌斉唱で始まり開式のことばを広田市保育会副会長、児童憲章朗読

を保母代表、主催者挨拶加茂坂市保育会会長と進み永年勤続者への感謝、表彰状を読み上げその功績をたたえ次に市長の代理として出席された木村助役の挨拶、高橋市社協会会長挨拶、来賓の祝辞は国会議員田川誠一氏をはじめ市議員等多くの方より頂いた、大会宣言を保育会代表が朗読し閉式の言葉を鶴山市保母会会長で第一部の式典を閉じた。第二部はNHEKより講師を招き約1時間半にわたり“上手な話し方”についての講演を聴いた。さすがNHEKの現職のアナウンサーだけあって聴く人の心をひきつけ保母さんお母さん方に判りやすく話をすすめられた。

初秋の午後を関係者各位の努力によって盛会のうちに終了出来たことを感謝致します。

46.3.13

### “まあ奥さま”

安部 龍 巖

まあ奥さま、  
なんという顔をなさいますか。  
電車の中、汽車の中、いたるところで、すばらしく着飾った奥さまが、とんでもない顔をなさるときがある。

おかめ、ひよっこ、  
眼を片眼にしたり、口をひん曲げたり、  
いやはや大変な形相だ。

“まあ、奥さま何と云う顔をなさいますか”

しかしこの珍顔の前に笑いこけている幼子を見ると、その聖なる母性愛にホロリとさせられる。

泣く子を何とかキゲンを取ろうとしての珍顔顔面の筋肉を総動員しての珍顔であって御本人は大マジメなのである。

金を出したって、二度とやってくれない。只子供が可愛い一途にやるのだ、他の人が何と見ていようが、これをやるのだ。

強きものよ、母性愛、  
義理やお金で自由にならない母としての聖なる姿だと思ふ。

今の日本を救うものは、日本の女性、この母心ではなかるうか。

○ 天と地は

いと広けれど 恋ふる人  
母一人のみ、只一人のみ。

(法句經に)

この世に母あるは幸なり  
父あるも又幸なり。

- あおげども あおげど  
星はおちてこず  
逝きに母は帰りこませず。



## 鎌倉、逗子

### 地区便り

双葉保育園

小池 妙子

を向け、処偶の改善或は労働条件等に取り組み  
又振興資金の返還、色々な諸問題に直面して  
いるが、負債も資本である事と割り切って保  
育に経営に前進する事もたのしい経営の行き  
方と信じています。

5. 6年前までは静かな湘南地区も宅地造  
成で山林の開発或は埋立等が行われ、一変し  
た地形となった。

我が逗子市であっても少し歩かぬと思わぬ  
迷路につき当ってしまう現状です。

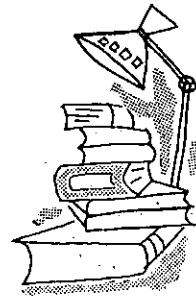
自分が担当する地区には  
鎌倉市 公立3 私立3 ) と云う  
逗子市 公立1 私立2

他の地域に比較して一まつの淋しさを感じま  
すが当地(逗子市)に於ては来年度より公立  
が1ヶ所増設されます予定ですので期待をし  
ています。

この地域(鎌倉、逗子)の特徴としては全  
施設法人である事と、最近の補助金に依って  
改築された鉄筋園舎であります。

残る1ヶ所の鎌倉の岩瀬保育園も今年の補  
助金によって改築の準備を着々と進めていら  
れます現状です。

経営者(園長)は改築と同時に息つく暇も  
なく施設を100%に活用し、質の向上に重点

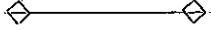




ひまわり愛児園

丘紫雲女

鬼の豆追打たれたる背広かな  
鬼の園長豆をかぶりし咽喉仏  
保母の手の雛あられ見の列正す  
花の屑いびつに伸びし園児の輪  
保育日誌に落花をたたみ今日終えぬ  
庭に向く鏡にブランコ踊り込み



保育かながわ 第10号

印刷日 昭和46年 月 日

発行日 昭和46年 月 日

題字 内山岩太郎・書

発行人 横浜市神奈川区桐畑14

神奈川県社会福祉協議会内

神奈川県保育会

委員長 望月正道

編集人 神奈川県保育会編集委員会

(代表) 小池

印刷所 湘南アフタケア協会印刷科

TEL横須賀(02) 2824